

平成 2 9 年

第 3 回防府市議会定例会

一 般 質 問

9 月 7 日（5 人）

1 山田 耕治・2 今津 誠一・3 橋本 龍太郎・4 山根 祐二
5 河村 孝

9 月 8 日（5 人）

6 久保 潤爾・7 宇多村 史朗・8 高砂 朋子・9 曾我 好則
10 石田 卓成

9 月 1 1 日（5 人）

11 三原 昭治・12 牛見 航・13 藤村 こずえ・14 清水 力志
15 山本 久江

9 月 1 2 日（4 人）

16 河杉 憲二・17 和田 敏明・18 田中 健次・19 清水 浩司

No.	1	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1 子ども達への支援について		(1) 発育・発達のさかんな第二発育急進期における子ども達が、家庭の事情に関係なくバランスの良い食事がとれる環境整備の一環で、中学校3年間の給食の無料化をしてみても、提案させていただいたが、現在の考えは？ (2) 小学校1年生で防犯ブザーを配布しているが、6年生までの維持管理は難しいと考える。2分の1成人式の4年生の時期にもお祝い支給するという事業の拡充を考えてみては？ (3) 市もさまざまな子育て支援を展開している。今後も定住促進も含め、少子化対策に向けた取り組みは必要不可欠と認識するが、市として子育てしやすいまちを目指し、「防府市子育て応援都市宣言」をし、PRしてみてもは？
2 河川の管理について		(1) 佐波川かわまちづくりの進捗状況は？ (2) 河川の管理という点で、河川内の雑草や河川管理道の雑草等、市民からの苦情や要望はどれくらいあるのか？ (3) 個人で草刈りをした場合の草の処分方法を、市で対応することも考えるべきでは？

No.	2	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1	三世代住宅に係る条例案について	この条例案では、まず入居者と定期借家契約を締結し、入居期間は原則、入居した世帯の最年少世帯員が中学校を卒業するまでとし、但し、入居世帯の希望により高校卒業まで延長できるとされている。 三世代住宅建設の目的は、三世代同居の意義・優位性を認識し、その拡充を図ることと考える。 入居期間を短期間化することは、その目的が果たされないばかりか、移住・定住政策も推進することが困難となる。 目的を果たすには、入居条件の緩和を図り、年少世帯員のいずれかが高校、大学卒業後、防府市に定住する意志が確認されれば入居条件を満たすものとすべきでは。
2	都市計画道路の見直し	大林寺・勝間線及び牟礼・中関線は昭和33年に都市計画決定され、以後60年を経過するが、未だ完成を見ていない。 計画時と比べ周辺の状況変化は著しく、これら2路線の計画を実現することは極めて厳しいと判断する。早急に見直しを。
3	街路樹等の維持管理	落葉対策と低木の維持管理
4	ふるさと納税	ふるさと納税は市の貴重な財源となる。今年度の目標額と具体策について伺う。
5	ハウフ・ビズ創設	これまでの執行部の回答中の重要ポイントについて

No.	3	橋本 龍太郎
質 問 事 項		要 旨
1	防府市の地方創生においての旗印について	(1) 都市間競争を生き抜くために防府市の旗印として掲げるものは？ (2) また地方創生の現在の取り組み状況は？ (3) I R推進法案成立を受けて防府市の対応は？ (4) 防府市は国や他県他市の情報収集やその速い動きに対して柔軟に対応できる組織になっているか？
2	J T 産業廃棄物処理場跡地の利活用について	国のプランを活用して野球場等の建設は考えられないか？

No.	4	山根 祐二
質 問 事 項		要 旨
1 マイナンバーカードを活用した地域経済活性化の取り組みについて		(1) 多くの地方自治体では、ボランティアや健康増進に関する取り組みにおいて自治体ポイントを発行しているが、本市での取り組みはいかがか。また、発行したポイントの使用状況と効果について伺う。 (2) 政府はマイナンバーカードを使って買い物や公共施設への利用を可能にする実証事業を始める。マイナンバーカードの普及につなげたい考えだが、本市のマイナンバーカード交付状況はどのように推移しているのか。 (3) 本市では本年7月1日よりコンビニ交付サービスが開始され、土日祝日も含め早朝から夜間まで各種証明書が取得できることになり、住民の利便性は格段に向上するが、利用するにはマイナンバーカードが必要になる。コンビニ交付サービスの利用状況はいかがか。

No.	5	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1	シティプロモーションとシビックプライドによる市の発信力の強化について	「市の発信力」に関する市としての戦略・方針を策定されてはいかがでしょうか。
2	ペーパーレス化の推進について	(1) 現在の紙の購入枚数について (2) 庁舎内の紙の使用量削減についての指針について (3) ペーパーレス会議推進について

No.	6	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1 コンパクトシティについて		防府市は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において基本目標に「元気みなぎるコンパクトシティの形成」を掲げているが、防府市の目指す「コンパクトシティ」がどのようなものであるかの定義づけがなされていないように感じられる。 コンパクトシティ政策に疑問を持つ市民の声もあり、政策を理解してもらうためにも、しっかりとした定義づけが必要であると思うが、執行部のご所見を伺う。
2 稼動していない構築物について		5月の議会報告会において市民から電光表示板のような稼動していない構築物を、今後どのようにしていくのかという趣旨の質問を複数会場からいただいた。 今後の方針等について執行部のご所見を伺う。

No.	7	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	「ほうふ幸せますまち博」について	(1) 本年１０月からプレ開催される「ほうふ幸せますまち博」の告知体制について (2) 「ほうふ幸せますまち博」を今後どのように発展させる考えか。
2	ため池の安全対策について	(1) 危険ため池の切開・改修計画について (2) ため池ハザードマップの地元周知について (3) ため池の安全管理について

No.	8	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1 離島振興事業について		野島の方々の日常生活を支える大切な交通手段である離島航路。その旅客運賃助成の充実は、高齢化の進む島民にとって切実な要望であり、離島振興、福祉向上のために更なる支援を求めたい。 ご所見を伺う。
2 子育て支援について		(1) 親子が気軽に交流し、語り合い、子育ての不安やストレスを解消するとともに、親子のスキンシップの大切さなどを学ぶ子育て学習の場となっている未就園児対象の子育てサロン等の意義は大変大きい。現状と課題について伺う。 (2) 少子化、人口減少社会を見据え、今後の公共施設更新・再編の中で、平成29年4月開設の「児童発達支援センター」（なかよし園）、10月開設予定の「子育て世代包括支援センター」（市保健センター内）、こども相談室（市役所子育て支援課内）等の機能を十分活かし、親子の交流等も可能な子育て支援の総合施設を構築して行くべきでは。 ご所見を伺う。

No.	9	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	市庁舎建設に係る財源見通しについて	6月議会において、市長は市長会の自らの取組の成果により、平成29年度に新たに庁舎建設に対する国の支援措置として「市町村役場機能緊急保全事業」が創設されたと言われた。 実際は昨年発生した熊本地震が直接の要因であると認識しているが、市長の支援措置の実現に至るまでの具体的なプロセス（いつ、誰に、どのような形で働きかけてきたのか）及び支援措置の内容について伺う。
2	今後のまちづくりについて	前回、鉄道高架事業や一連の再開発事業等について市長の認識を伺い、「駅前広場や鉄道高架を見ると、これだけの都市は全国でもない。この素材をいかに活かすか。すごい財産を私は継承した」と言われたが、将来の本市の発展のために、駅の北側はもとより、市全体のまちづくりを市長は責任をもって進める必要があると考える。今後、どのようにまちづくりに取り組むのか伺う。
3	観光駐車場の整備について	10月7日に山頭火ふるさと館がオープンするが、これに併せ、近隣用地において観光駐車場として、昨年度に用地買収、今年度に舗装等の整備をしたところである。この駐車場の用地買収にあたっては、2者の地権者から不整形な形状のまま全筆買収したため、駐車場には使えない不要な用地も含んでいるが、このような全筆買収に至った経緯を伺う。 また、今後、本市は公共事業も含め用地買収する時は、不要な用地があっても不整形なまま全筆買収するのか伺う。

No.	10	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	地区懇談会について	(1) 回答を聞いていると、日頃はやらない言い訳ばかりされる市長が意外にも前向きな回答をされることが多く驚いた。ただ残念ながら回答の中には他の方法で対処した方が良くだろうと感じるものもあったが、部長全員が揃っての会議で、こういった対応が最善か話し合っているのか。 (2) 2年に一回ではなく、毎年実施する考えはないのか。また、市が主催すべきだという声があるがいかがか。 (3) なぜ懇談会の結果を議会に伝えていないのか。自治会連合会の承諾が得られれば議会にも要望と回答を示して欲しいがいかがか。
2	草刈り機の無料レンタルについて	我が上右田地区では多面的機能支払交付金を利用して、様々なタイプの草刈り機を用意し無料で借りられるシステムを作っており地域住民は大変喜んでくださっている。市が草刈り機を用意して、このような取り組みを市内全域で行ってはいかがか。
3	地域農業の将来について	(1) 防府市総合戦略に掲げている担い手への農地利用集積目標について、期限まで時間が残されていないが、どうやって目標を達成するつもりか。何が原因で利用集積が進まないと考えているのか。 (2) 圃場整備事業の目標を、現在見直し中の農業振興地域整備計画へ記載する事と、住民への周知について (3) 地域農業の将来に向けた農業者との話し合いと、集落営農法人の設立について
4	空き家バンクについて	空き家バンクへの登録要件だが、宅建協会を通してのみ登録を認めるのではなく、他市のように所有者が希望した場合には登録できるように見直してはいかがか。

No.	1 1	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1 市有三世代住宅事業について		地域創生の取り組みとして計画している市有三世代住宅事業における、富海地域の活性化においての人口定住や富海小中学校一貫教育について、どのような効果を考えているのか。更に、同事業における将来的な展望をどのように考えているのか。また、市有三世代住宅設置及び管理条例案の条件内容について。

No.	1 2	牛見航
質 問 事 項		要 旨
1 情報発信について		(1) 防府市の総合的な広報戦略について、現状の取り組み、今後の課題について教えてください。 (2) 来年度にむけての広報課設立について

No.	13	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	吹奏楽によるまちづくりについて	本市では小学校、中学校、高校、社会人の各吹奏楽の団体が毎年、全国大会で金賞を受賞するなど優秀な成績を上げている。このように全国でも数少ない吹奏楽の盛んな本市であるが、吹奏楽を支える体制が整っていない現状である。今後は、「吹奏楽のまち」として本市を全国に発信し、次の世代に継承していく仕組みを作ることが必要ではないかと考える。 (1) 本市の吹奏楽団体の現状を伺う。 (2) 吹奏楽団体を支える体制作りについて、市としてのお考えを伺う。
2	ほうふ市内定期観光バスについて	複数の観光資源が点在している本市は、観光客の回遊性が低いため、それを観光バスでネットワークさせる取組として平成23年度から、運行されている「ほうふ市内定期観光バス」のコース内容をさらに充実させ、人気の観光商品として活用・発展させるべきと考える。 (1) 平成23年秋から運行されている「ほうふ市内定期観光バス」のこれまでの実績について伺う。 (2) 「ほうふ市内定期観光バス」を今後どのように発展させるか考えを伺う。

No.	1 4	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1 野島の事業について		(1) サテライトオフィス誘致推進について 離島振興事業としてサテライトオフィスの誘致を推進しているが、誘致状況はどうか。 (2) 教員住宅について 現在、女性専用の教員住宅が閉鎖されているが、今後どのようにするのか。 (3) 診療所について 現在、野島診療所が閉鎖されて野島漁村センターの談話室が診療所となっているが、それに至った経緯を問う。
2 核兵器禁止条約について		(1) 7月7日に国連本部で核兵器禁止条約が採択されたが、平成5年12月に核兵器廃絶平和都市宣言を行った市としての見解を問う。 (2) この条約の採択について日本は棄権という立場を取ったが、日本も条約に批准するように、国へ働き掛けていくべきだと思うが、どうか。

No.	1 5	山本 久江
質 問 事 項		要 旨
1	三田尻塩田記念産業公園の整備について	(1) 海洋民俗資料収蔵庫の建替えがすすめられているが、既存施設との一体的整備と活用をどう図っていくのか。 (2) 登録有形文化財 三田尻塩田旧越中屋釜屋煙突の保存修理について
2	子育て支援について	こども医療費支給事業の義務教育修了までの拡充について
3	国民健康保険制度について	(1) 来年４月からの国保の県単位化にむけ、国は、保険料の試算結果を国に報告するよう求めているが、市民への公表も行ってほしいかどうか。 (2) 均等割の見直しによる子育て世帯の保険料負担軽減について

No.	16	河杉 憲二
質問事項		要 旨
1 聴覚障害者対策について		(1) 聴覚障害者に対し、現在の取り組み状況は。 (2) 手話通訳者や要約筆記者の確保と養成について (3) 学校教育における手話の授業の取り組み状況はどうか。 (4) 手話言語条例、または情報コミュニケーション条例を制定してはどうか。
2 認知症対策について		(1) みまもり（徘徊）SOSネットワーク事業の現在の取り組み状況について ・ 認知症高齢者の事前登録者数は ・ 市民メール登録者数は ・ メール配信件数は (2) 徘徊行動の対策の一つとして、認知症高齢者の靴のかかとに目立つ色のステッカーを貼ってはどうか。

No.	17	和田 敏明
質問事項		要 旨
1 防災について		(1) 佐波川ハザードマップと土砂災害警戒区域との整合性について (2) 防災について地元説明会等はどれくらいの頻度で行われているのか。 (3) 同報系防災行政無線は、現時点で市内全域を網羅されているのか。 (4) 多発している豪雨による災害事例から、実情に合わない・不足しているもの等はないのか。
2 学校・教育について		(1) 学校・教育環境について (2) 公共施設再編計画等に掲げてある学校施設の複合化と耐震化工事との整合性について

No.	18	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1 防災基本条例について		地域防災計画に基づく施策をより一層の実効性を持って進めるためには、行政のみならず、市民、事業者などの各主体が自ら、また相互に協力しつつ、継続的に取組むことが必要です。防災基本条例を制定し、市民、事業者、防災組織などの役割や取組事項を法的裏づけをもって具体的に定め、自助、共助、公助が一体となった地域防災力の向上を目指すべきではないか。
2 公文書管理について		(1) 公文書管理法の趣旨にのっとり、公文書の適正な管理のため、公文書管理条例を制定すべきではないか。 (2) 歴史公文書について、どのように位置づけ、保存していくのか。
3 のら猫対策について		地域における猫に関するトラブル解決の一助として、山口県が推進している「地域猫活動」について、啓発、周知をし、市内での普及を進めてはどうか。

No.	19	清水 浩司
質 問 事 項		要 旨
1	明治維新150年に係る取り組みについて	明治維新150年事業の取り組みの中で、小野出身の志士 佐伯稜 ^{いすお} 威雄や氏と縁のある宇佐八幡宮を取り上げて欲しい。
2	土石流被害対策について	(1) 市内の土石流災害危険箇所の把握はなされているか。 (2) 危険箇所における砂防ダム建設予定はあるか。

